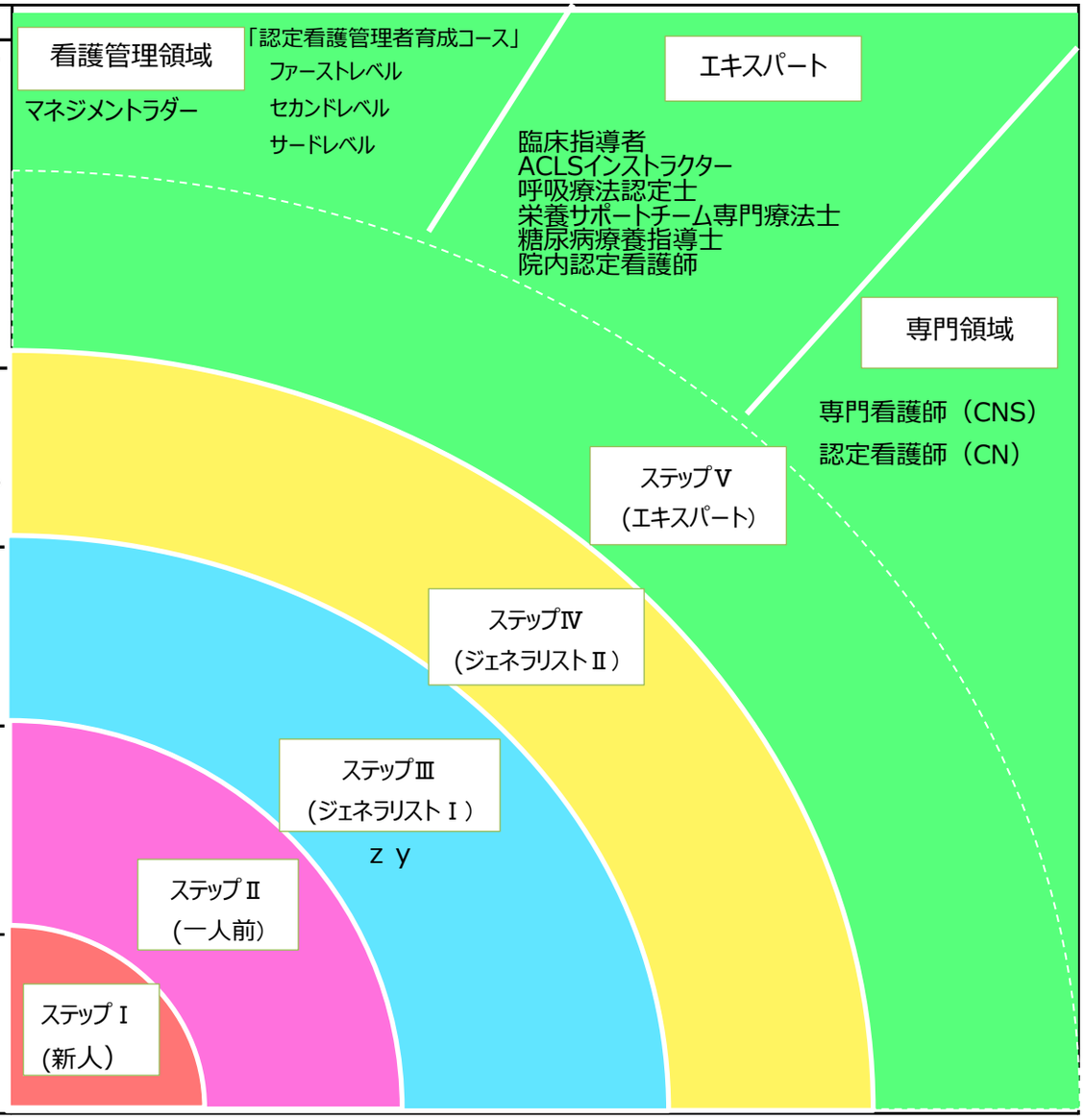	到達目標
ステップⅤ	・より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しＱＯＬを高めるための看護を実践する ・所属を超え、看護部や病院から求められる役割を遂行できる。 ・看護単位の課題に対し、具体的解決に図る ・単独で専門領域や高度な看護技術等についての自己教育活動を展開することができる ・主となり研究活動を実践できる ・看護単位における教育的役割がとれる
ステップⅣ	・幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する ・看護部や病院から求められる役割を認識し、チーム医療を推進する ・所属部署の課題を明確化し、目標達成に向けたマネジメント力を発揮する ・自己のキャリア開発に関して目指す方向に主体的に研究に取り組み、成果を発信する ・後輩のロールモデルとなることができる
ステップⅢ	・ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する ・所属する職場で、組織的役割が遂行できる ・看護チームでの中で、創造的にリーダーシップを発揮できる。 ・自己の学習活動に積極的に取り組むとともに、キャリアビジョンを描くことができる
ステップⅡ	・標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する ・組織の一員としての役割が理解でき、部署の目標達成に向けて、基準や手順を順守した行動がとれる ・日々の看護業務においてリーダーシップがとれる ・自己の課題を明確化し、達成に向けた学習活動を展開すること
ステップⅠ	・基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する ・責任の最も軽い、難易度の最も低い、軽微な組織の役割を果たす。看護チームでは、メンバーの役割、病棟の係としては簡単なルーチンの係の役割を遂行できる ・自己の課題を指導によって発見し、自主的な学習に取り組むことができる